

ニュース・年間行事

■2023年

○10月3日～12月21日「健康経営プログラム」の実施

枚方市スポーツ協会からスポーツ庁が行う事業を受託したことに伴い、同協会からこの事業への参加協力依頼がありました。事業内容の都合上、大阪事業所のみでの活動となりましたが、部門グループ対抗「秋の体力測定」や社内で「ちょこスポ[※]」プログラム（スポーツプログラムの実施）への参加を通じて、健康への意識を高め、多くの社員が本イベントに参加することで、社員間のコミュニケーションのきっかけにもなりました。



健康経営の講演会風景

※「ちょこスポ」とは、心地よい30分の運動プログラムであり、ストレッチやヨガを通じて、誰もが手軽に続けられる内容になっており、忙しい毎日にも溶け込む、コンビニのような便利さで、仕事の後、ちょこっと汗を流すプログラムです。

- 10月 3日(火) 「ちょこスポ リラックスヨガ」
- 10月19日(木) 「ちょこスポ 肩こりすっきりストレッチ」
- 11月 7日(火) 男子バレーボール パナソニックパンサーズ 選手の来訪「パンサーズストレッチ」
- 11月20日(月) 「骨盤調整ヨガ」
- 12月 5日(火) 「腰痛改善ストレッチ」
- 12月21日(木) 「アロマヨガ」



「ちょこスポ[※]」プログラムの参加風景

○10月30日「枚方市 小学生のためのお仕事ノート」に当社が掲載

大阪府枚方市の小学生（3・4年生）に配布される「小学生のためのお仕事ノート」に当社が掲載されました。この「お仕事ノート」は、未来を担う地元の子ども達に、企業で働く魅力を伝えるキャリア教育副読本として利用されています。

当社掲載のページでは、当社の事業を専門用語を使用せずに小学生でも分かるように伝えています。また、現場で「働く人の声」として社員のメッセージを載せて、ホソカワミクロンの「今」を発信しました。



掲載された当社の紹介ページ

○11月5日「不器用 FACTORY in ひらかた」に参加

くずはモール（大阪府枚方市）にて開催された「不器用 FACTORY in ひらかた」に当社が参加しました。

このイベントは、枚方・寝屋川のものづくり企業



会社紹介の紙芝居

が集まり、子どもたちにもものづくりの楽しさを体験いただくことを目的に、2023年に初めて開催されました。

当社はオリジナル砂時計を作るワークショップを行い、子どもたちが思い思いにデコレーションした砂時計を通じて、カラフルな粉の動きを体験してもらいました。

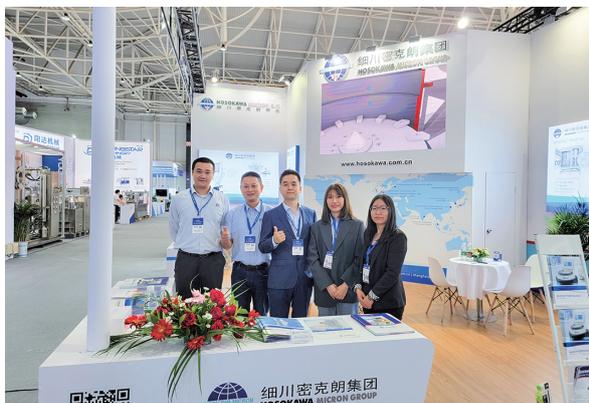


砂時計の制作

○11月13～15日「中国国際製薬機械博覧会 (China National Pharmaceutical Machinery Exposition) CIPM 2023」(於：アモイ国際博覧センター (中国 / アモイ)) に出展

中国および世界の製薬業界において、CIPM（中国国際製薬機械博覧会）は最も重要な展示会の一つで、春と秋の年2回開催されており、2023年5月末に開催された春季大会に続き、11月中旬に秋季CIPMが福建省廈門で開催されました。細川密克朗（上海）粉体機械有限公司（Hosokawa Micron (Shanghai) Powder Machinery Co., Ltd.）は春季に引

き続き、ホソカワミクロン欧州グループのホソカワアルピネ（HAAG：ドイツ）およびホソカワミクロンB.V.（HMBV：オランダ）と合同で出展しました。今回の展示では、未来志向のテクノロジーとソリューションを提供し、業界関係者に革新的な製品を紹介しました。ブースは両サイドを開放するデザインが特徴で、展示品を広く見渡せるレイアウトにより、顧客との直接的なコミュニケーションを行いました。今後も、細川密克朗（上海）はCIPMへの継続的な出展を計画しており、来場者へ「未来のプロセス技術」を提供する展示を目指していきます。



「CIPM 2023」春季大会での展示風景



「CIPM 2023」秋季大会での展示風景

■2024年

○1月17～19日「第14回化粧品開発展2024 東京」
(於：東京ビッグサイト)に出展

本展示会は毎年開催される化粧品業界では最大の展示会で、エステ・サロン向けの美容クリニック製品（美容機器）等も出展されるため、化粧品開発者やクリニックの買い付け担当者も多く来場するという特徴があり、当社技術と親和性の高い『医療・理

美容系』の新規顧客の獲得が見込めます。当社ブースでは、壁に「ひとぬりで1,000,000,000個×24時間」と大きく掲げ、「化粧品ひとぬりで10億個のナノカプセルが毛穴・肌の奥深くに美容成分を確実に届け24時間以上美容成分の効果を持続させる」PLGAカプセル技術だからこそ実現できる機能性をPRし、具体的な企画提案をメインに“競争力あるODM”提案を行いました。



「化粧品開発展 2024 東京」での展示風景

○2月1日「枚方市立第一中学校キャリアアッププロジェクト」に参加

前年に引き続き、地域貢献活動の一環として2024年2月に大阪府枚方市立第一中学校で行われたSDGsワークショップに参加しました。参加した企業は枚方市に本社や工場を構える地元企業計7社で、各社の社員が実際に学校を訪問し、中学生のサステナビリティに関する企画考案をサポートしま

した。

また、今回のワークショップは、GIGA フェス2023（枚方市の特色ある学校の取組を生徒の発表を通して、市内の学校や市民へ広く発信する枚方市教育委員会主催のイベント）でも取り上げられ、当社が担当した班の生徒がプレゼン『社会課題解決に貢献する「粉」を考える』を行いました。なお、同イベントは吉本興業の芸人さんたちが司会を務め、YouTubeでライブ配信されました。



ワークショップ当日の様子



GIGA フェス 2023 プレゼンテーションの様子

○3月12日「令和5(2023)年度 ホソカワ粉体工学振興財団助成・褒章事業贈呈式」(於：ホソカワミクロン株式会社本社本館(枚方市))の開催

平成3年に当社細川益男前会長により創設された公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団は、毎年「KONA賞」を授与するほか、研究助成や若手研究者の育成、学会開催の支援など、これまでに計1,100件(7.7億円)を超える助成を行い、粉体工学の発展に寄与してまいりました。今回の贈呈式は新型コロナウイルス感染症の影響で2019年以来5年ぶりの開催となり、会場とオンラインのハイブリッド形

式で行われました。会場には受賞者や関係者約30名が参列し、オンラインでは採択者や関係者約35名が参加しました。今年度は120件の応募の中から、KONA賞1件、研究奨励賞3件、研究助成19件、研究者育成援助5件、シンポジウム等開催援助2件が採択され、助成金総額は2,400万円となりました。式典では財団理事長細川悦男から受賞者へ贈呈状が手渡され、研究奨励賞受賞者3名による記念講演が行われました。また、財団の30年の歩みについての講演もありました。最後に猪ノ木評議員の閉会挨拶の後、記念撮影と懇親会が行われ、盛会のうちに終了しました。



受賞講演風景



懇親会風景

○3月25日「ダイバーシティ&インクルージョン」の推進

2024年3月25日(月)ホソカワミクロン労働組合との共同開催で、ESGへの取組みの一環として

「ダイバーシティ&インクルージョン(=以下D&I)」を推進していくため、サントリーホールディングス株式会社のピープル&カルチャー本部 キャリア推進センター 専任部長の小倉由紀氏(キャリアコンサルタント)をお招きし、「サントリーのDEI推進」



D&I 講師小倉由紀氏



D&I 講演会場風景

や「キャリア自律の取り組み」についてご講演いただきました。従業員約60名が参加し、サントリーのDEIの概要や事例に関する情報を得ることで、ホソカワミクロンにおいても、DE&I^{*}推進への理解をさらに深めることができました。これからも、全ての社員が個性や能力を存分に発揮できるDE&Iを推進し、当社の優位性保持、競争力強化を目指します。

「あらゆる人が公平に扱われ、尊重され、組織・社会において包括される」状態を目指すこと、あるいはそのための取り組みを意味します。企業におけるDE&Iとは、「従業員の個性を発揮できる環境を実現するための体制づくりや取り組みのことです。

※ DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）とは、「Diversity（多様性）」「Equity（公平性）」「Inclusion（包括性）」の頭文字を取った言葉です。

○5月14～15日 粉体工学会で当社社員がベストプレゼンテーション賞を受賞

2024年5月14日・15日に開催された「粉体工学会2024年度春期研究発表会」にて、ICTデジタル推進事業部の北村智浩（滋賀大学データサイエンス研究科を2024年3月に修了）がベストプレゼンテーション賞を受賞しました。発表題目は、「多出力ガ

ウス過程回帰によるベイズ最適化を用いた粉体製造における粒子径分布の制御」で、本研究は、同科の河本薫教授および今井貴史講師の指導のもと、当社の粉体製造における実課題解決に向け取り組んだものです。現実の粉体プロセスにおけるデータサイエンスの応用研究として学会でも高く評価されました。



プレゼンテーションの様子



受賞式の様子

○6月26～28日「第26回インターフェックス—医薬品・化粧品 製造展」(於：東京ビッグサイト(東京都/有明))に出展

当社は、「100年の経験による最高峰の粉体技術で持続可能な社会に貢献します。」をテーマに、測定機として、新製品の動的粒子像分析装置パーシェアナライザ[®] (PAS)、粉体特性評価装置パウダテスタ[®] (PT-X)の2機種を、またラボ機として、小規模研究開発用卓上ラボ機ピコライン (Picoline)、乾式粒子複合化装置ノビルタ[®] ミニ (NOB-MINI)、卓上型粉砕機ファインインパクトミル (100UPZ-c)、

旋回流型ジェットミルスパイラルジェットミル (50AS)の展示を行いました。その他にベネトアナライザ[®] (PNT-N)、封じ込め設備のパネル展示を行い、当社の幅広いトータルエンジニアリングをアピールする絶好の機会となりました。

特に今回は粒子の撮影画像から精度の高い粒子の形状測定が可能なパーシェアナライザ[®]の実演測定を、オートサンプラを利用した自動測定とすることで、来場者の反応は上々であり、属人化からの脱却が急務となっている医薬分野に展開するための素晴らしい情報交換の場となりました。



「インターフェックスジャパン東京 2024」での展示風景

○7月25日 完全子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ

当社は、2024年10月1日をもって、完全子会社であるホソカワミクロン化粧品株式会社を吸収合併することを発表しました。ホソカワミクロン化粧品株式会社は、当社が独自開発した機能性ナノ粒子（PLGA）技術を用いた育毛剤や化粧品、口腔ケア品

を主力商品とする通信販売事業を展開しており、今回の合併により、これら商品の研究開発や製造を担当する当社マテリアル事業本部と統合されます。この統合により、研究／商品開発から、製造販売までの一連のプロセスの最適化とスピードアップを図り、経営の合理化と組織運営の効率化を推進します。これにより、当社のマテリアル事業のさらなる成長が期待されます。

○9月3日「第56回粉体工学に関する講演討論会」（於：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）（大阪市／北区））の開催

当講演討論会は、粉体技術談話会の企画のもとに公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団（理事長細川悦男）が主催して開催されるもので、「先進製造プロセスを支える粉体技術とその応用」をテーマとして、粉体工学・粉体技術の基礎と応用の観点から、KONA 賞受賞講演を含む6件の講演がありま

した。今回も、昨年度に引き続き、会場とオンラインでのハイブリッド開催となりました。講演後総合討論が行われ、各界の来場者から質問や意見が出され、講師が直接回答する形で活発な討論が交わされました。講演会の後、懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、講師と来場者との間で有意義な交流が行われました。本年の会場への来場者数は80名を超え会場は満杯状態となり、オンラインを合わせると250名近くの参加がありました。次回（第57回）は、東京での開催を予定しております。



「第56回粉体工学に関する講演討論会」の講演風景



KONA 賞贈呈式風景